

持ち上げない！

抱え上げない！

引きずらない！

看護教育が取り組む ノーリフトケア

看護師
国家試験
新出題基準

県内就職率UP
離職対策に
必須

実習施設 / 就職先を
安全・安心に働ける環境に！



参加費
無料

日時

2025年8月18日(月)・19日(火)
10:00~16:00 ※ 半日参加も可能です

- ☑ 初日 現場の課題解決
- ☑ 2日目 教育への発展 を主軸としたプログラムです
- ☑ 2日目のみの参加者向けに、初日のダイジェスト動画を用意する予定です
- ☑ 教員は原則2日間ご参加ください

会場

愛媛県立医療技術大学

対象

愛媛県下で看護教育に従事する教員
実習施設の看護管理者等



お申込みはコチラ ▶▶▶

※ 昼食（有料）も承ります

詳細は大学HPにてご案内いたします

<https://www.epu.ac.jp/>



両日登壇の講師陣

テーマ 初日 現場の課題解決 2日目 教育への発展

医療福祉職場の腰痛予防・安全衛生問題専門家の草分け
「新・職場に於ける腰痛予防対策指針」の
改定に関与

産業医 **埤田 和史 先生**

びわこリハビリテーション専門職大学教授
日本ノーリフト協会顧問・労働衛生コンサルタント

介護現場の腰痛と離職減らしに成功！
高知県「ノーリフトケア宣言」の礎をつくり
病院での普及の鍵も見つけた！

理学療法士 **下元 佳子 先生**

一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク代表理事
日本ノーリフト協会理事

ノーリフトケアに取り組んで 10 年
離職に悩む病院からマグネットホスピタルに！

朝陽会美須賀病院

看護部長 **重見美代子** 一般病棟師長 **村上康浩**

全国から見学者多数！看護学生の修学旅行も！

学生実習でノーリフトケア教育実践中！

愛媛県立医療技術大学

ノーリフトケア関連科目担当教員

生活援助技術論（動く）

在宅看護論

ディスカッション

授業と実習を変えていくために

いろんなリフトに乗ってみよう

正しいスライディングシートの
選び方・使い方

ボディメカニクスに
エビデンス無いってホント！？

一度体験したら必ず変わる
学生は学びを実感しています



20°？ 5 秒間？ ひねり？
不良姿勢を測定してみよう

備品購入せずにできる！？技術演習

自立に導く座り直し
座位で脱着・座位移乗

関連文献ご紹介

小林良子，宮脇美保子 慶応義塾大学看護医療学部

わが国における看護師の腰痛予防対策に関する現状と課題
医療現場におけるノーリフトケアに焦点をあててより

〈看護基礎教育と医療現場の乖離〉

厚生労働省が目指す方針と医療現場、そして看護基礎教育で教授されている内容の乖離は埋めていく必要がある。高知県を例に挙げると、県の取り組みが徐々に普及する中で、ノーリフトケアに興味を持った学生が自ら施設に学びに来るケースや、介護福祉士養成施設が行った研修会に学生が参加しているケースがあり、医療現場における積極的な取り組みは、基礎教育を受けている学生にも好循環をもたらしている…



窪田 静 愛媛県立医療技術大学

ケア先進国デンマークと日本のギャップ
～リフトをめぐる今昔物語～より

学生に教えられたことはもう一つある。

それはある学生が「ボディメカニクスが身につかない原因を探りたい」という卒業論文を書こうとしたことから始まった。日本では金科玉条的な位置づけとなっており、「腰痛の原因＝ボディメカニクスの技術不足＝その人の責任」という暗黙もしくは雄弁な圧が蔓延している。

